

法人会ニエス 2005 1 江東ひがし



<http://www.koto-higashi-h.or.jp/>

浮世絵

東海道五十三次内
荒井駅 小女郎

三代歌川豊国画
大判錦絵



三代歌川豊国(天明6年〜元治元年
(1786〜1864))は現江東区の出
身で初代豊国の門人である。

五渡亭国貞の名で浮世絵界に活躍
数多くの作品を残した。五つ目の渡し
(現五ノ橋辺り)の株をもって住んでい

たので、五渡亭と称した。のち亀戸天
神前に移り住み亀戸豊国ともいう。
彼の人気と実力が、『歌川派にあらず
ば浮世絵師にあらず』とまで言わしめ
た。墓は光明寺(亀戸3丁目)で墓石
の文字は蜀山人の筆跡である。

初夢



江東東税務署長

栗原 勇

新年明けましておめでとう
ございます。江東東法人会の
皆様には、ご家族そろってよ
いお正月を迎えられたことと
思います。

新しい年を迎えて皆様も希望
に満ちた目標を立てておられ
ることと思います。
私もすばらしい初夢を見る
ことができました。

夢

昨年は、法人会の皆様には
経済社会のめまぐるしい変化
の中で、消費税の大幅な改正
や、電子申告・納税の導入の
定着に向けて広報等を通じて、
多大な協力をいただきました
こと、心より感謝申し上げます。

年々年を重ね、いつかしら
齢72歳を迎え7回目の年男と
なり、いよいよ次回の年男に
向けて遠大な計画を立てるこ
ととした。まず手始めに夫婦
で、今年の世界に向けていま
でより拡大施策をとって、豪
華客船でのクルージングによ
る世界一周旅行を実施するこ
ととした。今の日本は国が豊
かだ、国民もゆとりのある生
活を送っているせいか、ゆつ
たりとした気持ちで、時間を
もてあそぶような余裕のある

旅行が主流である。

われわれ団塊の世代に生き
てきた者は、高度成長の波に
乗って働くことに多くの生き
がいを感じ、あわただしく時
間を活用することで、欧米諸
国から日本人は働きすぎであ
るとの批判を受けたこともあ
った。でも真面目に努力する
ことが美德と教えられて育つ
た世代に、今のようなゆつた
りとした経済社会環境を受け
入れる体質もなく、また、こ
のような社会が実現するとは
予想だにできなかったことであ
る。

難を乗り越えて現在の活気あ
るわが国があると思う。

思えば十数年前、消費税改
正の定着に向けての説明会や
電子申告・納税の普及等に協
力団体の皆様とがんばって
たことを懐かしく思い出す。
あんなことも今のすばらしい
国づくりになっていったと思う。
各人の生活自体に活気がみ
なぎり新聞等では、平均年齢
は男女とも100歳とのこと
である。小生も若造の部類で、
まだまだ数多くの社会貢献活
動に参加しなければならぬ。
さて、話は戻って世界一周
の旅であるが、夫婦ともども
老いてますます健康で、毎日
朝夕のウォーキングはもちろ
ん町内の各種行事に参加する
などして、心身ともに健康づ
くりになり励んでいる。そのお陰
で体力には自信があり、あと
は世界のさまざまなことから
を知識として吸収するだけな
ので、パンフレットなどを取
り寄せ、事前に世界一周の旅
をしておくこととする。世界
の情勢も昔と変わって、いま
はこの国も日本との友好関

係が出来上がり、治安もよく
快適な旅が楽しめる状況であ
る。・・・早くこいこい世界
一周旅行・・・

夢

夢の中のひと時であっても、
こんなすばらしい未来に遭遇
できたことは、非常に胸躍る
気分だ、「こいつあ春から縁起
がいいわい」というところで
す。

現実の正月も捨てたもので
はありません。今年2歳にな
る孫が年末から我が家に居座
り(来てもらっている)、我が
膝元から離れない状況はまさ
に至福のときである。今年も
この孫と、数多くの楽しい一
時が過ごせると思うと、仕事
にもより弾みがつくというも
のです。

今年も、皆様の更なる協力を
いただきました。円滑な署
務運営を行っていきたくと思
いますので、
よろしくお
願い申し上
げます。
ところで、

もてあそぶような余裕のある

が協力し合ったおかげで、危

はどこの国も日本との友好関

る商売繁盛を祈念いたします。

『あるべき税制』に向けて

税務研究部会

10月研修会は27日(水)、総勢30名が参加して法人会館にて開催された。講師は大久保法人課税第一統括官で、研修テーマは『税制改正等の行方について』……基本方針(拡大する財政赤字を改め、グローバル化・少子高齢化に対応する、中長期的な「あるべき税制」を構築する)を受けて実施された、平成14～16年度税制改正の解説がなされた。



大久保法人課税
第1統括官



「税のこぼれ話」

女性部会

去る12月8日(水)アンフェリシオンにおいて会員50余名が参加し、講師に恒吉副署長を迎えて、研修会が開催された。最初は税と生活が如何に密接



講 師
恒吉副署長

に関連しているかということ、**「頭の体操問題」**が出され、日常生活で知らず知らずのうちに負担している税について分かりやすく説明していただき、その税の種類の多さに会員はビックリ!
後半は新聞・テレビ、政府報道等の報道ジャンル別に注目の税関連記事を紹介され、

ついで……基本方針(拡大する財政赤字を改め、グローバル化・少子高齢化に対応する、中長期的な「あるべき税制」を構築する)を受けて実施された、平成14～16年度税制改正の解説がなされた。
主な内容は、次の通り。(1) 所得税……人的控除の簡素化を進め、基幹税の機能を回復。(2) 法人税……連結納税制度の

導入で、企業組織再編成を支援。(3) 年金税制……65歳以上の者に上乘せしていた公的年金等控除や老年者控除の廃止で、世代間の公平を確保。(4) 消費税……簡易課税制度の適用上限や事業者免税点の引下げで、信頼性を向上。
平成17年度も増税傾向(定率減税の縮小等)だが、「生活が大変とだけ思わず、税金の使途が納得いくものである事」を条件に、子孫にツケを回さない覚悟が求められている。」と感じた研修会であった。

平成15年度査察事件のワースト業種や裁判事例で事業者である妻にその夫(事業者)が支払った経費の是非、国の財政及び少子・高齢化社会における税制、意外と気づかなかつた江東区ホームページ(財政・歳入)の紹介、更に中越地震の被災者やクマ(害獣)被害の災害等にあつた時の税控除(減免)、など盛りたくさんの話があり、大変、楽しい研修会でなごやかなうちに終了した。(山田)

「承継税制について」

青年部会

11月10日(水)法人会館において「税を考える週間」青年部会研修会が開催された。



西山資産課税統括官

第一部は、江東東税務署から西山憲二資産課税統括官を講師として、「承継税制について」という演題で研修を行な

った。平成15年の税制改正によつて新設された相続時精算課税制度を中心に、承継税制について研修を受けた。
第二部は「経営とくらしの情報」という演題で、シグマジャパン(株)代表取締役の半田ジャプを講師として助成金・補助金の活用法について学んだ。中小企業が活用できる助成金がいかに沢山あり、活用されていないかが理解できた。(溝)



▼敬虔あらたに今年こそはと、年頭の誓いを立てるが、三日坊主で終わってしまう。肩肘張らずにマイペースで社会・日常生活を送る事が出来たらどんなに幸せなことであろう。殺伐とした社会情勢においては、取り残されるのが現実ではないだろうか。

▼自給自足で生活の糧を得ながら、独自のライフスタイルを貫いている人達がテレビで紹介された。辛く悲しい時もあると思うが、人生をエンジョイしている幸せな表情を見せてくれた。自信を持って生きていく証なのだろうか。遅く生きていく姿を見て、勇氣と活力が湧いてきた。
▼目標を立てることは大切なことではあるが、心・体にとりをもつて厳しい現実を受け止めながら、背伸びし過ぎず一日を有意義に過ごし、自分の等身大で一年を後悔のないように乗り切つて行きたいと思う。(原)

45氏が栄えある受彰

平成16年度納税表彰式

11月16日(火)午後3時からカ
メリアプラザホールにおいて
江東東税務署、江東東税務親
和会共催により、平成16年度
納税表彰式が行われた。
深緑の松が飾られた式典会
場には受彰者
をはじめ多数
のご来賓なら
びに関係各位
が出席され厳
粛な雰囲気
のうち、署の佐
藤総務課長の
総合司会によ
り開式された。
署長表彰は
広報副委員長
三浦繁夫氏ほ
か3氏
署長感謝状
は大島第七支
部長中村政夫
氏、東砂第二
支部長丸山文人氏、女性部会
副部長長高橋はじめ氏、ほか
5氏が受彰された。
続いて、伊藤副署長から、
江東東青色申告会副会長鈴木
繁男氏が、去る10月26日、東

京国税局長表彰を受彰された
旨披露され、会場から盛大な
拍手で祝福された。



署長表彰を受彰
三浦繁夫氏

次に、税務親和会小川事務
局長の司会により、関係民間
団体長の表彰状の贈呈が行わ
れた。

▼江東東納税貯蓄組合連合会
▼社団法人江東東青色申告会



会長表彰状を受彰された方々



署長感謝状を受彰された方々

▼社団法人江東東法人会

▼東京小売酒販組合城東支部

▼江東東間税会

法人会渡辺孝至会長より次
の15氏に表彰状が贈呈された。
(敬称略)

亀戸東6支部長 大川丈夫氏

亀戸西6支部長 藤井敬男氏

北砂第3支部長 儘田二郎氏

東砂第3支部長 木下敏宣氏

亀戸第5支部幹事安達 勲氏

大島第5支部幹事渡邊 一生氏

北砂第1支部会計矢島敏幸氏

北砂第2支部幹事渡辺和亮氏

佐野一信副会長

都主税局長表彰を受彰



佐野一信氏

当会の副会長佐野一信氏、
(佐野味噌醤油株式会社代
表取締役社長) が去る11月
11日に東京都庁において、
栄えある平成16年度東京都
主税局長表彰を受彰されま
した。

佐野氏は、昭和46年に、
青年部会副部長に就任さ
れ部会組織に尽力され、51
年5月に常任理事を経て平
成4年5月副会長に就任さ
れ、広報を担当し現在に至
っています。
佐野氏は、全法連広報副
委員長、東法連広報副委員
長として活躍されています。
ここに披露し、深甚な
敬意を表します。

北砂第4支部幹事津田みち子
氏

東砂第1支部幹事山崎朝治氏

南砂第1支部幹事長上原修司
氏

女性部会幹事岩月シゲ子氏

青年部会副幹事長溝呂木真氏

税務研究会会会員水谷 彬氏

源泉部会幹事馬越幸秀氏

次に栗原税務署長、中沢税
務親和会会長より式辞があり、
続いて込山江東都税事務所長、
室橋江東区長の祝辞があり、

恒吉副署長の閉式のことば
で式典は終了した。

伊藤副署長が東京国税局長の
祝辞を代読された。

受彰者を代表して納貯組合
副会長大山氏が謝辞を述べら
れた。

引き続いて中学生の「税に
ついての作文」税務署長賞を
江東区立第二大島中学校3年
長澤真幸さんが受彰し「税を
払う権利」と題した受賞作文
を朗読された。

『税と私』―単身赴任を経験して―

「税を考える週間」 栗原署長 講演

「税を考える週間」講演会は、11月12日(金)亀戸天神社社務所において、150名が参加して開催された。



講師 栗原 勇氏

講師は栗原 勇氏(江東東税務署長)で『税と私』―単身赴任を経験して―の演題で、自己紹介と経歴を詳細に話されたあと、2年間に亘る単身赴任の体験談を語られた。

『講演要旨』

転勤に対する戸惑い―一般生活・家庭生活・他局でできるのか。(奥様からの激励?)

「天罰」の一言。

①人を知る

2年間で3つの目標を!
1〜2年で転勤のため、知

り合いが少なく大変な努力が必要である。相手に対して疑心暗鬼にならず、胸襟を開くことにより、上下関係の連携が深まり、人事交流がスムーズになる。真心をもって相手に真摯に接するのが人を知る上で最も近道な方法である。

②土地を知る

赴任地であった福岡・佐賀・長崎の3県を署長力作の地図を参考にし、分かりやすく観光案内を兼ねながら説明された。

福岡県は大きく3つに分けられる。博多は商業の街であり、九州全体の先導役。北九州は重工業で経済が成立ち、大企業への依存度が高い。県南部は農業が盛んである。

佐賀県は影が薄く、九州の中で忘れられやすいが、バランスの取れた裕福な県である。県人は真面目で、何に對しても堅実な仕事をする。

長崎県は名所が多く観光立県である。土地は狭いが島が多く、管轄エリアが広い。総勢11名の日本最小の税務署が屯岐にある。

③自己管理

気ままになり、不規則な生活を送ってしまう。

(飲み過ぎ、外食による偏食) 馴れない環境のためストレスが溜まる

(二人住まいの侘しき、話相手がない孤独感が堪らない) 自分に対して厳しく生活規制をする。

休日には探検の日として目的地を決め、管内を歩く。実行することによりストレス解消になる。四季折々を感じながら土地を知り、土地にまつわる歴史を学ぶことができた。

「皆さまも春夏秋冬を愛でつつ夫婦仲良く散策を楽しみ、健康管理をして下さい」と結ばれた。

初冬の砂町クリーン作戦

第15回社会貢献

「まちをきれいに」

11月7日(日)松本寝具(株)本副会長)に本部を設置、同社社員の多数の参加協力を得て総勢135名による砂町地区の一斉清掃を行った。出発式において

佐野実行委員長は「法人会は地域と一体となり、ご近所の底力」を」と挨拶。

江東東署を代表して



クリーンな町をめざして!

栗原署長からは

「先ず自らをきれいにしなればと昨日は理髪に行ってきた」と一同を笑わせたのち「法人会が社会貢献活動を通じて地域に羽ばたくことに大きな意義がある」とエールを。さらに佐久間城東警察署長は、

町の出ての清掃活動中も地域の人がびとから「ご苦労様」

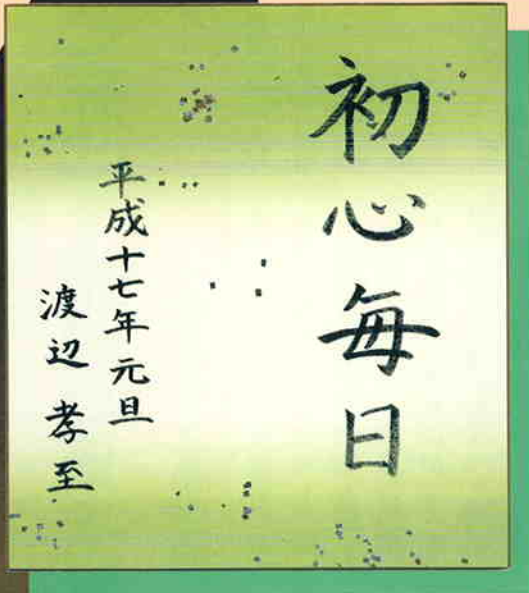
「私も法人会に入会したいが個人では?」など様々な声援を受けて、参加者一同気持ちの良い汗を流した半日であった。

江東区の合田環境清掃部長からは「役所周辺の清掃ボランティア活動を行っている」と美化への積極的な取り組み姿勢を披露された。

(佐)

賀 正

よし、やろうと思いついた、その時の意気込みと
謙虚さを今年も大切にしたい。
(社)江東東法人会長 渡辺 孝至



平成十七年が会員の皆様にとって
より良い年でありますように……



いつも明るい未来を夢見て・・・
法人会と会員皆様のご事業の発展を
祈念申し上げます。
江東東税務署長 栗原 勇



江東区民のため大道を歩みたいと願っています。
江東区長 室橋 昭



大道
江東区長
室橋 昭

会員の皆様のご健勝と事業のご繁栄を
心からお祈り申しあげます。
江東都税事務所長 込山 寿子



寿春
平成十七年元旦
込山 寿子

法人会のおますのご発展と会員の皆様の
ご健勝を祈念申しあげます。
東京総理士会江東支部長 佐藤 道江



鶴は浴せずして
白し
平成十七年元旦
佐藤 道江

平成16年度 全国納税貯蓄組合連合会優秀賞受賞作品
東京納税貯蓄組合総連合会会長賞受賞作品

『未来のための貯金』

東京都江東区立第三亀戸中学校三年 塚本いずみさん



私は吹奏楽部に所属しています。正式な名前は「吹奏楽・マーチング部」で、今はその両方の活動をしています。マーチング用のドラムなども学校で用意をしていただきました。

しかし、以前マーチング部としての活動が休止してしまっただけで、「練習日に用事が

ある」そして「面倒臭い」という、私たち部員のあまりに

勝手な理由があったからです。音楽室の隅にある、ほこり

をかぶったドラムたち。私はそれを見て、ふと考えました。

学校のお金は区役所から割り当てられ、運営費として使わ

れます。それは、私たちが普

段払っている消費税からも賄

われます。コンビニでアイスやジュースを買う時に、私は何度も「消費税なんてなければ良いのに」と思いました。しかし、そうやって少ない金額でもたくさんの方が払って

いけば、結局は自分たちの生活がより快適になるように使

われていくのです。もし、日本から税金という

制度が消えてしまつたら。学校が運営できなくなります。

警察や消防の活動費用がなくなつてしまいます。ゴミの処理

ができなくなります。道路などの整備ができなくなりま

す。他にも、私たちの生活が不便になるような事が起こる

でしょう。

税金を払わないのも、同じことだと思いません。自分一人

ぐらい払わなくても大丈夫だ、そんな意見をたくさんの方が

持つたら、日本の経済は崩壊し、自分で自分の将来を、日

本の未来を破壊するようなも

のでしょうか。そう思うと、税金を払いたくないと言つていた自分がとても恥ずかしいです。

まだ納税する年齢でない私

たちには、消費税を払うこと

しかできません。しかし、税

に対する考え方は変えること

ができればいいと思います。

「成 16 年度 納 税 表」

「成 16 年度 納 税 表」

「成 16 年度 納 税 表」

「成 16 年度 納 税 表」

「成 16 年度 納 税 表」

「成 16 年度 納 税 表」

うやってたくさんの人たちから買っていただいた、私たちへのプレゼントです。では、私には何ができるのでしょ

うか。答えはもちろん、この

最高のプレゼントを有効に、

そして大切に使い、私たちの

生活を充実させることです。

「成 16 年度 納 税 表」

「成 16 年度 納 税 表」

「成 16 年度 納 税 表」

「成 16 年度 納 税 表」

「成 16 年度 納 税 表」

「成 16 年度 納 税 表」

「成 16 年度 納 税 表」



江東東・西署と関係民間団体による 初めての合同シンポジウムを開催

12月7日(火)、「税を考える週間」行事の一環として江東西税務署において、江東東・西署の署長・副署長並びに関係民間団体長が出席して、合同シンポジウムが開催された。

更なる会活動の活性化を図る目的で開催された。

江東東署からは、栗原署長、恒吉法人担当副署長、伊藤総務担当副署長が、関係民間団体からは、渡辺法人会会長、中沢青色申告会会長、浅野納



活動状況を報告する渡辺会長

税貯蓄組合連合会副会長、佐藤税理士

会支部長、

宝田小売酒

販組合城東

支部長、宮

崎間税会会

長が出席さ

れた。

江東西署

からは、佐

藤署長、市

田法人担当

副署長、折

橋総務担当副署長

が、関係民間団体か

らは、高橋法人会会長、水井

青色申告会会長、小澤納税貯

蓄組合連合会副会長、柴谷税

理士会支部長、黒澤酒類業懇

話会会長、高柳間税会会長が

出席された。

出席者の中には「江東区は

一つ、この会を楽しみにして
いました」との声や、東西の
税務署が分割される前の懐か
しい頃の思
い話も出
て和やかな
雰囲気の中
で始まった。

初めての合同シンポジウム
は東西署の現状と今後の問題
点、更に各団体の活動状況等

東副署長で、
佐藤西署長
の開会挨拶
の後、各団
体の活動行
事や会の P
R 等が披露
された。

その後、

恒吉東副署

長から「今

後の少子・

高齢化社会

における消

費税の重要

性、折橋西

副署長から、

平成 16 年

分の確定申告の対応」につい

て説明があり、最後に栗原東

署長の挨拶で閉会した。

について情報の共有ができ、
大変有意義な会であった。



江東東・西署長、関係民間団体長の方々

木曾川克人総務委員長

江東都税事務所長感謝状を受彰



木曾川克人氏

当会、木曾川克人氏（木曾川産業株式会社代表取締役社長）が去る11月19日、江東都税事務所三階会議室において平成16年度江東都税事務所長感謝状を受彰された。

昭和53年4月青年部会幹事に就任され、平成4年4月に部会長に、同年5月に常任理事に就任、6月に総務委員に選任され、11年6月に副委員長。15年6月に総務委員長に、また、社会貢献活動の実施の際には委員として積極的に貢献されている。

ここに披露し、深甚なる敬意を表します。

都税だより

都税事務所からのお知らせ
1月は償却資産の申告月です。

固定資産税は、土地や家屋のほか、償却資産（機械や備品などの事業用資産）についても課税の対象となります。償却資産をお持ちの方は、毎年1月1日現在所有している資産を、申告していただくこととなります。

申告期限は平成17年1月31日(月)です。期限間近になりますと窓口が混雑しますので、お早めに申告をお願いいたします。

申告についてご不明な点がありましたら、お近くの都税事務所までお問い合わせください。

〒105-8337 東京都江東区東横町1-1-1
電話 (3637) 7121

区税だより

◎給与支払報告書の提出期限

給与支払報告書は「個人別明細書」「総括表」ともそれぞれ2枚ずつ平成17年1月31日(月)までに提出してください。

提出先は、給与所得者が平成17年1月1日現在に居住する市区町村長宛です。

書き方について特にご注意ください。点検は、給与支払報告書（個人別明細書）に記載されている「住所」欄です。

住民税の課税の上で重要な事項ですので1月1日（中途退職者の場合は退職時）現在の住所または居所を確認して正確に記載してください。なお、所得税の源泉徴収票は、平成16年中の給与等の金額が500万円以下等、一定の条件に該当しないときは税務署への提出は必要ではありませんが、市区町村長宛に提出する給与支払報告書は、提出が必要となりますので、ご注意ください。

行事予定

1月

21日(金)	新春講演会 演題「長谷川平蔵（鬼平）のリーダーとしてのカンどころ」 講師 西尾忠久先生	午後 4 時	アンフエリシオン
24日(月)	源泉部会研修会 研修内容「平成16年分確定申告の仕方 パソコン・電子申告による確定申告」 講師 個人課税第1部門	午後 3 時	法人会館
25日(火)	決算法人説明会 研修内容「会社の決算・申告の実務」 講師 江東東税務署審理担当官	午後1時30分	カメラアプラザ 第2研修室
26日(水)	女性部会研修会 研修内容「確定申告にあたって」 講師 個人課税統括官	午後 2 時	法人会館

2月

7日(月)	おもしろパソコン教室	午前 10 時 午後 4 時	法人会館
8日(火)	ワード入門教室	午前 10 時 午後 4 時	法人会館
9日(水)	エクセル入門教室	午前 10 時 午後 4 時	法人会館
10日(木)	エクセル応用教室	午前 10 時 午後 4 時	法人会館
15日(火)	新設法人説明会 研修内容「新設法人のための会社の税金」 講師 江東東税務署審理担当官	午後 1 時30分	カメラアプラザ 第2研修室
18日(金)	第378回理事会	午後 3 時	法人会館
23日(水)	税務研究部会研修会	午後 2 時	法人会館

●役員会・委員会は省略してあります。お問い合わせは事務局まで。

管内法人数 5,760社 法人会員数 2,832社 加入率 49.16% (平成16年12月14日現在)

<http://www.koto-higashi-h.or.jp/>